

# 水産宮崎

SUISAN MIYAZAKI



2016  
09 No.707

## 宮崎の海産物消費の為に各地で奮闘する



2018東京シーフードショー



伊勢えび祭り知事表敬訪問



宮崎県定置漁業協会【視察】

## CONTENTS

### FISHING POLITICS

漁政



知事と宮崎の水産を語る会

平成30年8月属人水揚げ表

平成30年8月末現在漁業生産統計

### FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報



初級職員簿記研修会

JF経営指導宮崎県委員会

漁協役員・参事合同研修会

### BUSINESS

業務情報



JFシェルナース

貝藻くんの効果調査

### FISHERIES CO-OPERATIVE

漁運情報



2018東京シーフードショー

2018宮崎イセエビいただきマンス開催

平成30年度第1回管理職会議  
第1回安全衛生委員会

第3回監事会  
平成30年度 第4回理事会  
平成30年度 役員コンプライアンス研修会

### FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



環境DNAを利用した

カツオ・マグロ調査 —経営流通部—

### RELATED ORGANIZATION

関係機関



宮崎県定置漁業協会【視察】

8月の動き(漁運)・8月の動き(県関係)



水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラからA4サイズで出力出来ます。



## 知事と宮崎の水産を語る会



宮崎県 JF 漁業政治連盟（会長 宇戸田定信）は、去る8月8日（水）水産会館5階大研修室にて、

知事と宮崎の水産を語る会を開催した。

冒頭、宇戸田会長より、第20回宮崎県知事選の候補者として河野知事へ推薦状が手交され会に入った。

意見交換では、河口や港口の土砂の堆積問題や、豪雨によって川上から流れ出た流木や海底に堆積した大量のゴミ問題、燃油高騰、漁船や遊漁船の放置問題など多岐に渡り漁業現場の声が発せられた。

協議内容は下記の通り。

### 協議事項

- |     |                              |
|-----|------------------------------|
| (1) | 担い手対策の県政全般に亘るテーマについて河野知事より講話 |
| (2) | 意見交換会                        |
| (3) | 知事を囲んでの昼食・懇談会                |

## 宮崎県浮魚礁利用協議会

### 高知県、愛媛県との協定書・覚書調印式

●宮崎県浮魚礁利用協議会は、8月7日本県沖合の浮魚礁利用承認を受けている宮崎沖浮魚礁利用調整高知県協議会と3年に一度の協定書の締結を行った。

また同日、宮崎県漁連は愛媛県漁連との間で浮魚礁利用に関する覚書を交わした。

宮崎県海区漁業調整委員会（海区委員会）は、平成30年9月からの宮崎県沖合の浮魚礁利用に係る3年に一度の承認証の一斉更新を行った。

県浮魚礁利用協議会は、浮魚礁利用承認を受けた漁業者の操業の安全と秩序の維持が図られるよう海区委員会に対し各浮魚礁の無線周波数を決定し、承認証に明記するよう要請した。



J F 宮崎漁連宇戸田代表理事会長（右）

J F 愛媛漁連平井代表理事会長（左）

#### 覚書締結



宮崎県浮魚礁利用協議会江藤会長（左）

宮崎沖浮魚礁利用調整高知県協議会  
澳本会長（右）

#### 協定書締結

## 平成30年8月属人水揚げ表

区分 漁協名	8月分			8月末累計			昨年同月末累計			増	減	魚価 対比 %	
	数量 t	金額 千円	魚価 円 /kg	数量 t	金額 千円	魚価 円 /kg	数量 t	金額 千円	魚価 円 /kg	数量 t	金額 千円		
北浦	3,674	181,807	49	32,031	2,023,275	63	35,334	2,201,107	62	-	3,304	-177,832	1.4
島浦町	937	104,658	112	7,506	1,091,499	145	6,930	1,124,347	162	576	-32,848	-10.4	
延岡	45	28,543	639	176	124,120	707	418	149,996	359	-243	-25,876	97.1	
延岡市	84	38,925	464	696	318,472	458	717	303,718	423	-22	14,754	8.1	
庵川	67	32,744	488	734	437,822	596	970	492,206	507	-236	-54,383	17.5	
門川	31	23,054	740	184	142,034	771	168	99,650	594	16	42,383	29.8	
日向市	177	126,560	715	2,368	1,893,847	800	3,046	2,091,748	687	-677	-197,901	16.4	
都農町	8	8,010	948	246	219,774	895	313	236,357	755	-68	-16,583	18.6	
川南町	64	69,503	1,086	1,448	1,354,104	935	1,945	1,567,155	806	-497	-213,051	16.0	
一ツ瀬	7	5,967	879	79	55,385	701	96	65,550	684	-17	-10,165	2.4	
檉浜	2	1,360	570	76	25,827	338	89	34,425	386	-13	-8,597	-12.4	
宮崎	18	14,037	796	559	246,880	442	685	301,954	441	-127	-55,075	0.3	
宮崎市	32	17,337	543	519	273,476	527	639	366,313	573	-120	-92,837	-8.1	
日南市	347	139,302	401	4,039	1,707,947	423	3,975	1,919,695	483	64	-211,748	-12.4	
南郷	1,024	334,326	327	12,215	4,034,048	330	11,306	4,149,708	367	910	-115,661	-10.0	
栄松	82	25,823	317	1,023	353,489	345	857	336,900	393	166	16,590	-12.1	
外浦	595	180,174	303	5,219	1,525,393	292	5,019	1,544,661	308	201	-19,268	-5.0	
串間市 東	18	15,873	861	1,129	418,919	371	1,066	413,780	388	63	5,139	-4.4	
串間市	827	506,603	613	5,985	3,389,413	566	5,712	3,159,886	553	273	229,527	2.4	
合計	8,040	1,854,606	231	76,234	19,635,724	258	79,287	20,559,156	259	-	3,053	-923,432	-0.7

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

## 平成30年8月末現在漁業生産統計

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき網	船びき網	定置	養殖	その他	合計
北浦			31,414 1,794,967	2 990	145 37,999		433 162,556	6 10,973	30 15,790	32,031 2,023,275
島浦町		271 275,333	6,721 387,711	8 12,333			165 56,375	328 331,328	14 28,418	7,506 1,091,499
延岡				6 5,287	11 6,303	125 98,687			35 13,843	176 124,120
延岡市	101 23,586			1 752	61 22,561	50 42,059	411 136,840	2 1,076	70 91,597	696 318,472
庵川	47 22,142	257 242,599	127 23,952	0 282	40 22,542		151 51,281	72 49,062	39 25,963	734 437,822
門川	9 2,539	17 16,329		3 3,772	56 25,193	87 80,861			12 13,340	184 142,034
日向市	242 97,931	1,530 1,559,148		2 666	7 2,964	52 12,006	471 167,121	9 8,055	57 45,957	2,368 1,893,847
都農町		203 195,488		2 1,973					40 22,313	246 219,774
川南町		1,250 1,193,354		68 57,709	10 6,735				121 96,305	1,448 1,354,104
一ツ瀬				8 8,456	10 5,770				61 41,159	79 55,385
憶浜						52 9,724			24 16,104	76 25,827
宮崎		153 126,956				356 87,672			49 32,251	559 246,880
宮崎市		209 149,078	30 2,569	50 30,793	39 22,555	76 12,753	81 39,599		35 16,128	519 273,476
日南市	3,116 941,813	739 639,700		65 45,491			87 44,444		33 36,499	4,039 1,707,947
南郷	10,566 3,352,515	838 369,535		142 94,796			660 206,674		9 10,528	12,215 4,034,048
栄松	960 292,898	42 37,587		20 20,627					2 2,378	1,023 353,489
外浦	4,559 1,361,070	555 103,883		2 1,619			105 59,560		-1 -738	5,219 1,525,393
串間市東		35 41,488		98 58,792			940 279,502		56 39,137	1,129 418,919
串間市				7 6,578	0 198	17 39,766	13 7,869	5,935 3,291,745	14 43,257	5,985 3,389,413
合計数量	19,600	6,098	38,292	481	378	816	3,516	6,352	701	76,234
〃 金額 (魚価)	6,094,494 311	4,950,477 812	2,209,199 58	350,915 729	152,821 404	383,529 470	1,211,821 345	3,692,240 581	590,228 842	19,635,724 258
前年数量	17,967	7,794	41,194	619	465	1,125	3,060	6,088	975	79,287
〃 金額 (魚価)	6,327,527 352	5,645,706 724	2,415,039 59	461,452 745	195,183 420	346,682 308	1,041,344 340	3,490,835 573	635,389 652	20,559,156 259
数量増減 〃 対比(%)	1,633 9.1	-1,696 -21.8	-2,902 -7.0	-138 -22.3	-87 -18.7	-309 -27.5	456 14.9	264 4.3	-274 -28.1	-3,053 -3.9
金額増減 〃 対比(%)	-233,033 -3.7	-695,229 -12.3	-205,840 -8.5	-110,537 -24.0	-42,361 -21.7	36,847 10.6	170,477 16.4	201,404 5.8	-45,161 -7.1	-923,432 -4.5
魚価増減 〃 対比(%)	-41 -11.7	87 12.1	-1 -1.6	-16 -2.1	-16 -3.7	162 52.5	4 1.3	8 1.4	191 29.3	-2 -0.7

端数処理の関係で、下一桁が合わない場合があります。

## 初級職員簿記研修会

受講者集合写真



研修風景



漁連はアクションプランの取組活動の一環として職員の資質向上を目的に、8月2日～3日の2日間に渡りJA学びの杜にて初級職員を対象とした簿記3級の研修を実施した。

参加者は基礎的な内容をよく理解出来たと非常に満足している様子であり、今後の業務に活かしていきたいとの多くの声が寄せられた。

---

## JF 経営指導宮崎県委員会

JF 経営指導宮崎県委員会は、8月27日（月）に信漁連会議室において平成30年度第2回委員会を開催し、JF 経営指導全国委員会への定例報告や県域アクションプランの進捗状況等について協議し、全議案承認された。



「水産政策の改革」について説明をする長谷水産庁長官

## 漁協役員・参事合同研修会を開催

漁連・信漁連・共水連の3連共催による漁協役員参事合同研修会は、8月8日（水）水産会館5階大研修室で開催された。

研修内容は、水産庁・長谷長官、JF全漁連・長屋代表理事専務を講師に招き、今年6月1日に政府が示した「水産政策の改革」を4つのテーマに分け行われた。

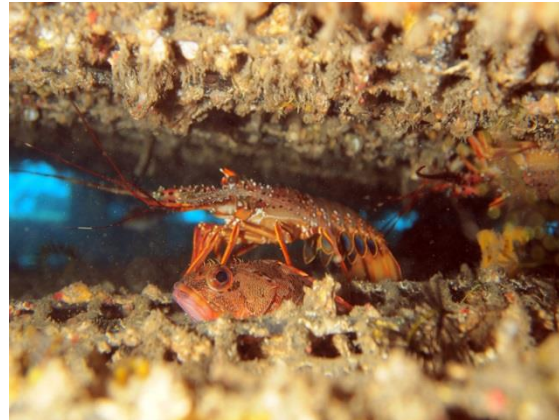
参加者からは、今回の改革に伴う疑問点、不安点、また期待する点等、多数の現場の生の声が発言されたが、両講師からはその都度丁寧な返答を頂き、大変有意義な研修会となった。

### 研修内容

- (1)海面利用制度の見直しについて
- (2)新たな資源管理システムの構築、漁業許可制度の見直しについて
- (3)漁協制度の見直し等について
- (4)その他

## JF シェルナース・貝藻くんの効果調査

平成30年8月6日～7日の2日間で、2年前に設置した2.2型シェルナース及び、今年5月に設置した貝藻くんイセエビコレクターの効果調査を行った。



### ・串間市地区の2.2型シェルナース

イセエビ・カサゴ・オオモンハタなどの生息が確認された。



### ・串間市東港内の貝藻くんイセエビコレクタータイプ

イセエビコレクターの中にイセエビの幼生とイカの卵が多く確認された。



## 2018 東京シーフードショー 宮崎からも出展

今年20回目の記念すべき開催となった「東京シーフードショー（正規名称はジャパンインターナショナル・シーフードショー）」には、宮崎県から下記のとおり9社と当協議会ブース出展5社の計15社が出展しました。

会場となった東京ビックサイトには、全国のみならず世界各国から845社が出展しました。来場者も3日間で3万4千人を超える規模に。宮崎県の出展社も十分な成果が上がったとのこと。今後の取引拡大が期待しております。

### ＜宮崎県の出展企業とそのPR製品＞

- (1) 株式会社 水永水産 (オイルちりめん、さば加工品)
- (2) 株式会社 器 (宮崎海洋高等学校との共同開発のさかな缶詰)
- (3) 株式会社 新海屋 (カンパチフィレ、ぶりフィレ)
- (4) 有限会社 鈴木組 (平家キャビア、チョウザメ加工品)
- (5) 株式会社タカスイ (まき網どれ鮮魚)
- (6) 南郷漁協 (かつおソーセージ)
- (7) 延岡市水産課 (市内水産加工会社の商品展示PR)
- (8) 宮崎合同食品 (ちらし寿司ネタ)
- (9) 宮崎のさかなビジネス拡大協議会 (宮崎県水産PR) + 下記商品
  - ・宮崎産メヒカリの南蛮漬け (宮崎魚市場)
  - ・ひなたのほしものがたり～県産魚の乾燥品 (フードマーク)
  - ・宮崎発まぼろしの尺ヤマメ (しゃくなげの森)
  - ・朝どれ鮮魚を飲食店等へ航空便配送 (やひろ丸)
  - ・日本のキャビアを世界へ (ジャパンキャビア) →別ブースに出展したため場所の案内



## 2018 宮崎イセエビいただきマンス開催

国内有数の水揚げ高を誇り、人気の高い「宮崎イセエビ」に焦点をあて、9月1日の漁解禁から11月末までの3ヶ月間を「2018 宮崎イセエビいただきマンス！」と銘打ち、PRイベントを開催いたします。 ※全国第7位、年間57tの漁獲量です。(H28)

イベントの皮切りになるのは「河野宮崎県知事にイセエビ漁スタートを告げる『知事表敬訪問』」。9月3日の月曜日、日南海岸伊勢えび祭り実行委員会（日南市の漁業者＋飲食店等）と東九州伊勢えび海道実行委員会（延岡市と大分県佐伯市の飲食店等）の2つの団体が、県知事室を表敬訪問しました。

テレビ局や新聞社の記者の皆様方が待ち受ける知事室に、双方の団体約20名が入室し、それぞれの事務局メンバーから今年の伊勢えび漁況やら期間中のイベント概要やらをPRしていただき、とっておきの伊勢えびを知事さんに試食していただきました。

「う～ん、美味しい～」との知事さんのコメントに、双方の団体さん皆でにっこり。

その次には、県庁記者室で「記者会見」。ぜひ伊勢えび祭りにおいで下さいとPR頑張りました。



県庁知事室です



日南海岸～との記念撮影



東九州～との記念撮影



県政記者室での記者会見

## 平成30年度第1回管理職会議

漁連は、8月3日(金)水産会館第二中研修室において、平成30年度第1回管理職会議を開催し、次の事項について報告及び協議をおこなった。

### 報告事項

- (1) 人事異動について
- (2) 役員選任について
- (3) 平成29年度決算状況について
- (4) 監事監査報告書について
- (5) 平成30年6月末事業実績について
- (6) 第2次中期経営計画の修正について
- (7) 平成30年度コンプライアンスプログラムについて
- (8) 諸規程の一部改正について
- (9) 第二期アクションプランについて

### 協議事項

- (1) 各出先持寄り事項について

---

## 第1回安全衛生委員会

漁連では、8月3日(金)水産会館第一中研修室において、第1回安全衛生委員会を開催し、次の事項について協議・報告を行った。

### 協議・報告事項

- (1) 安全衛生委員会内規の改正について
  - (2) 安全衛生委員会の任命について
  - (3) 業務上の事故の状況について
  - (4) 水産会館内禁煙実施について
- その他

## 第3回監事会

漁連では、8月8日(水)漁連会議室において、平成30年度第3回監事会を開催し、次の事項について議案審議を行い、原案通り承認された。

### 附議事項

第一号議案 平成30年度上半期監査計画(案)に関する件

## 平成30年度 第4回理事会

漁連は、8月31日(金)水産会館第一中研修室において、平成30年度第4回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

### 報告事項

- (1) 人事異動について
- (2) 7月末損益概況について
- (3) 第1回、第2回JF経営指導宮崎県委員会の結果について
- (4) みらい基金の公募について

### 附議事項

- 第一号議案 赤水定置網漁業に関する件  
第二号議案 北浦製氷第二工場の補修に関する件  
第三号議案 石油類の価格改定に関する件

## 第平成30年度役員コンプライアンス研修会

漁連は8月31日(金)水産会館第一中研修室において役員コンプライアンス研修会を行った。

・ 講師  
コンプライアンスアドバイザー 戸高栄作氏

・ 研修内容  
「～事故や事件のない職場をつくる～」

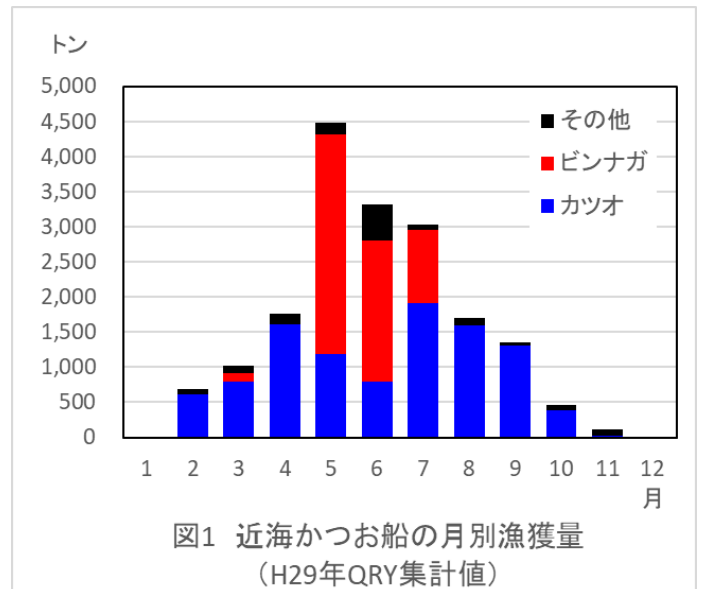
## 環境DNAを利用したカツオ・マグロ調査

～大海原の科学捜査～

—経営流通部—

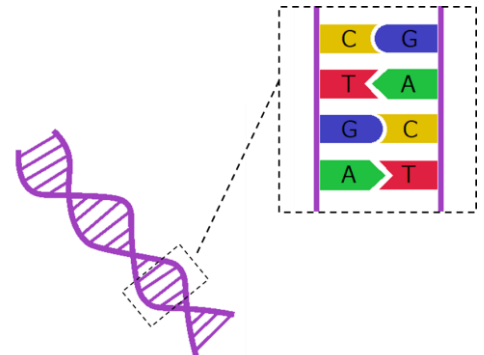
### はじめに

太平洋を広く回遊しているカツオ・マグロの調査・研究は、国主導の基に本県など関係県が連携して行っており、中でも世界的に漁獲・利用されているカツオやクロマグロについては生態や資源量推定等の研究が進められていますが、ビンナガ等の小型のマグロ類については、まだ謎が多いままです。一方、本県の基幹漁業である近海かつお一本釣漁業においては、ビンナガへの依存度が高く重要な漁獲対象となっていることから（図1）、4月から7月にかけて紀南海域から本州東方海域において、調査船みやざき丸によりカツオ・ビンナガ漁場の先行調査を行っています。これらの調査・研究には、漁協の水揚げ情報のほか、船間無線連絡漁況情報（QRY）や、調査船によるサンプリングや標識放流等を利用していますが、昨年から新たに「環境DNA」を利用した研究に着手しましたので、その概要について紹介します。



### 環境DNAとは

「DNA」とは、人間や魚などの生物の体を作っている細胞の中にある遺伝子のことです。その構造の中にその生物の形や色などを決める暗号をもっていて、その生物の設計図のような役割をしています。次に「環境DNA」ですが、これはDNAが海や川などの自然環境中に含まれていることを言います。海や川の中には、魚や貝、海藻などの生物が棲んでいます。これらの生物は水の中で糞をしたり、体の表面のぬめりがはげ落ちたり、時には傷ついて血を流したりしています。これらのことで、その生物の体を作っている細胞、細胞と一緒にDNAが水中に落ちることになります。この水中に落ちたDNA、いわゆる環境DNAを回収して、それが何の生物のDNAか見分けることができれば、その生物がどこかに姿を隠していても、その生物がいたことが分かってしまうのです。



環境DNAを利用した調査・研究は近年開発され、その技術は急速に発展してきています。環境DNAを利用した調査は、現場で生物を捕まえることなく、水を汲むだけです。生物や生息地を傷つけることがありません。また、少ない人数と時間で済むことからコストも抑えられること、特別な採捕技術や分類学的知識も必要ありません。このようなことから、絶滅が危惧される生物の保護や漁業などへの応用に期待が高まっています。

## 環境 DNA の解析結果(平成 29 年結果)

### ○検出された魚種

みやざき丸による環境 DNA 解析に必要な海水のサンプリングは、5 月から 7 月に本州東方海域に形成されたカツオ・ビンナガ漁場周辺において、水深 10m と 150m から各 1 リットル採取しました(図 2)。20 地点で採取した 40 サンプルの海水は、船内で濾過・凍結後、次世代シーケンサーによる網羅的解析を行いました。その結果、水深 10m のサンプルからは 30 魚種、水深 150m のサンプルからは 18 魚種の DNA が検出されました(表 1)。同じ採水地点でも水深により検出される魚種が異なったことから、環境 DNA を調べることで生息する魚種のほか遊泳する水深も把握できる可能性が考えられました。

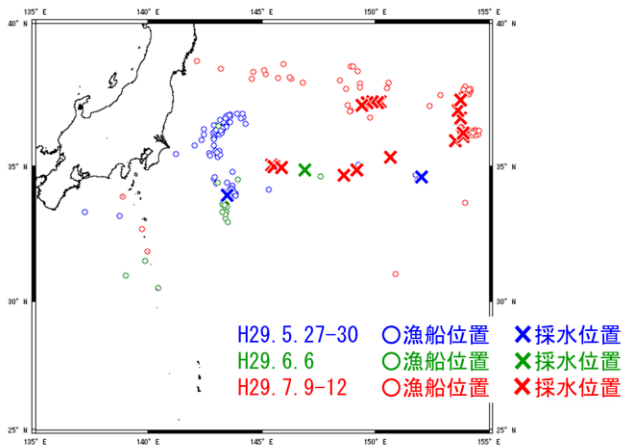


図2 採水地点と近海かつお船位置

表1 網羅的解析による検出魚種 (DNAのリファレンスデータと97%以上の相同性があったもの)

OTUId	検出サンプル数		魚種名	相同性 (%)
	10m	150m		
OTU_1	23	7	カタクチイワシ	100
OTU_2	15	2	カツオ	100
OTU_192	6	2	ビンナガ	98.81
OTU_141	4	2	ゴウハダカ	100
OTU_3	4	1	カンバチ	100
OTU_9	4	0	ハモ	100
OTU_166	4	0	マルソウダ	99.41
OTU_254	3	1	カタクチイワシ	99.29
OTU_12	2	1	マイワシ	100
OTU_10	1	2	ロウソクチビキ	100
OTU_15	3	0	アラハダカ	100
OTU_211	3	0	マルソウダ	99.41
OTU_7	0	2	ウナギカガジ	100
OTU_4	1	1	イサキ	100
OTU_14	2	0	ツマリウキエソ属の一種	100
OTU_29	1	1	ブリ	99.43
OTU_27	1	1	ヒロハダカ	98.22
OTU_30	1	1	ホシフグ	100
OTU_46	2	0	ウルメイワシ	100
OTU_131	1	1	ススキハダカ	99.42
OTU_341	1	1	ヒロハダカ	98.84
OTU_395	2	0	ハモ	100
OTU_381	2	0	ハモ	100
OTU_388	2	0	カタクチイワシ	98.8
OTU_11	0	1	ユキオニハダカ	100
OTU_13	1	0	クサビフグ	100
OTU_18	1	0	テングハギ	99.41
OTU_20	1	0	スイウハダカ	100
OTU_24	1	0	ハイロオニハダカ	100
OTU_33	1	0	チョウチンアンコウ	100
OTU_34	1	0	ロウソクモグラアンコウ	100
OTU_31	0	1	トンガリハダカ属の一種	100
OTU_35	1	0	ヤリガレイ属の一種	100
OTU_38	1	1	ドングリハダカ	100
OTU_43	1	0	トミハダカ	99.42
OTU_68	0	1	ホウエライエソ	99.39
OTU_99	1	0	マルアジ	100
OTU_102	1	0	マサバ	100
OTU_93	1	0	クロシオハダカ	100
OTU_125	1	0	タイワンアイノコイワシ	100
OTU_118	0	1	ヒラメ	99.4
OTU_181	1	0	クロヒゲホシエソ	100
OTU_361	0	1	ユキオニハダカ	98.18

### ○餌資源の存在との関係

水深 10m のサンプルのうち、カツオは 15 サンプル、ビンナガは 6 サンプルで検出され、水深 150m のサンプルからは、カツオが 2 サンプル、ビンナガが 2 サンプルで検出されました。カツオ、ビンナガが検出されたサンプルからは、これらの餌となっているイワシ類やハダカイワシ類も検出されることが多く、特にカタクチイワシが多くサンプルで検出されました(表 2)。カツオ等の回遊は海水温などの海況要因に連動するというのが定説ですが、回遊が餌資源に連動している可能性についても今後注視していきたいと思ひます。

表2 カツオ、ビンナガ及び餌資源の検出状況 (● 検出)

	魚種名	採水日	5/26			5/29			6/5			7/8			7/9			7/10					7/11					
		採水地点No.	5	7	11	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
10m	カツオ		●		●		●	●	●		●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ビンナガ				●				●		●			●											●		●	
	カタクチイワシ		●	●	●	●		●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●							
	タイワンアイノコイワシ																									●		
	マイワシ			●																								
	ウルメイワシ								●														●					
	マルアジ																							●				
	マサバ																										●	
	ハダカイワシ類						●	●	●	●	●	●													●	●	●	
150m	カツオ																											
	ビンナガ																											
	カタクチイワシ								●	●	●	●			●											●		●
	マイワシ																										●	
	ハダカイワシ類								●		●	●	●	●														●

## 今後の展望と課題

環境 DNA を漁業に利用するためには、放出された DNA の拡散や、環境 DNA の濃度と漁獲量（群の規模）との関係等を解明することが必要です。また、分析機器、解析技術は日進月歩であることから、近い将来、現場（調査船内）で解析された結果を速報として発信できるのではないかと考えています。そのためにも、可能な限りデータ（サンプル）の収集・蓄積を行い、研究に取り組んで参ります。

## 宮崎県定置漁業協会 【視察】

宮崎県定置漁業協会（会長：元浦 亮）は、8月22日～24日において視察研修を行った。大阪府貝塚市の株式会社テザック二色浜製造所にご協力いただき、多種多様のロープ製造工程及び施設の視察見学を行った。

また兵庫県尼崎市のヤンマー株式会社塚口工場にご協力いただき、船舶用ディーゼルエンジンの機械・組立・艀装・運転工程の視察見学やエンジン開発者との意見交換を行った。台風20号接近にも関わらず、対応いただき大変参考になる視察研修となった。視察受入にご協力いただいた関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。



※株式会社テザック二色浜製造所（工場内見学）





※漁業者とエンジン開発者との意見交換会（補機の低騒音技術等を要望した）



※船舶用ディーゼルエンジンの組立工程

## 8月の動き（漁連）

2～3日	初級職員簿記研修会
3日	第1回安全衛生委員会
	第1回管理職会議
6～7日	JF シェルナース調査
7日	宮崎県浮魚礁利用協議会 高知県、愛媛県との協定書・覚書調印式
8日	知事と宮崎の水産を語る会
	漁協役員・参事合同研修会
21～24日	ジャパン インターナショナル・シーフードショー
22～24日	定置漁業協会視察研修（京都府・大阪府）
24、25日	ロケット陳情
27日	JF 経営指導宮崎県委員会
31日	第4回理事会
	コンプライアンス研修会

## 8月の動き（県関係）

9日	第318回 宮崎県内水面漁場管理委員会
28日	農政水産部 技術調整会議本会議